

## 歴史(社会運動の広がり)

デモクラシーの高まりの中で、さまざまな社会運動が広がりを見せた。労働者の増加により①\_\_\_\_\_ 争議がしきりに起こる中、労働者の地位向上をめざして結成された②\_\_\_\_\_ 会を中心に、1920年、日本で最初の③\_\_\_\_\_ が開かれた。ちなみに、農村では④\_\_\_\_\_ 争議がしきりに起こっていた。また、女性の解放を唱えてきた⑤\_\_\_\_\_ は、1920年に⑥\_\_\_\_\_ を設立し運動を進め、部落差別に苦しんでいた人々は、1922年に⑦\_\_\_\_\_ を結成し、部落解放運動を全国に広げていった。1924年、憲政会総裁の⑧\_\_\_\_\_ が首相となり、1925年に⑨\_\_\_\_\_ 歳以上の選挙権をあたえる⑩\_\_\_\_\_ 法が成立した。それと同時に⑪\_\_\_\_\_ 法を制定し、共産主義に対する取りしまりを強めた。ちなみに⑫\_\_\_\_\_ 内閣以後の8年間、政党の総裁が内閣を組織することが慣例となった(⑬\_\_\_\_\_ )。

